

第4回 メンタルヘルス・セミナー開催

去る2009年9月29日、『精神疾患の基礎知識とその対応～part Ⅰ～』と題し、セミナーを開催いたしました。

前半は、当財団の近藤恭子医師より、職場のメンタルヘルス不調者によくみられる統合失調症、気分障害、適応障害に関する基礎知識とその対応のポイントについて、お話しいたしました。



特に職場のメンタル不調者に、最も多くみられる“うつ病”に関しては、古典的なうつ病だけでなく近年問題視されている新型うつ病など様々なタイプがあること、そして早期回復・早期改善のためには、そのタイプごとに異なった対応が求められることをお話しいたしました。

また、外部医療機関との連携のとり方のポイントについて、実際に精神科クリニックの医師としての経験も交えながらお話しいたしました。



後半は、提示された事例の問題点をリストアップし、対応プランについて検討するというグループワークを行いました。

参加者の立場や経験の違いから、様々な意見があがり、終始和やかな雰囲気の中、活発なディスカッションが展開されていました。

参加者からは、「これまでの対応に自信が持てた」や「今後の対応に活かしていきたい」との感想をいただきました。

アンケートでは「精神疾患の基礎知識を整理できた」「新型うつ病について知る事ができてよかった」との感想や、後半のグループワークに対して「色々な方の意見が聞け、参考になった」「話し合いの場で良い意見がきけた」などの肯定的な感想が多く見られ、多くの方々に満足いただけたようでした。



ご参加いただいた方からは、事例検討の機会を求める声も多く聞かれました。その一方で、メンタルヘルス事例に対する検討の機会は少ないため、またこのようなテーマのセミナーを企画したいと考えています。